

九州大会 報告・お礼

参加者994名の皆さんと、かたい絆を結ぶことができました。ありがとうございました。

語っちみるや やっちみるや「かたい絆だ！社会教育」～今、社会教育に求められているもの～



11月1日・2日の両日、メディキット県民文化センターを中心に、第42回九州ブロック社会教育研究大会宮崎大会を約1,000名の参加者、100名の運営協力者を得て、開催することができました。

初日は、都農町の中高生による生涯学習の**成果発表**「浦安の舞」で、厳かな雰囲気の中、幕が開きました。

記念講演として、西米良村の黒木定蔵村長に「カリコボーズの村づくり」と題し、講演をいただきました。



「幸せ観」をもたせる地域づくりの取組は、社会教育にも共通するものであり多くの示唆をいただきました。



講師 黒木定蔵村長

全体会終了後、大会の目玉である「**名刺交換会**」を開催しました。会場は、婦人会16団体による郷土料理と最高の笑顔に包まれ、約200名の参加者は、大いに語り、交流を深め、絆の輪の広がりを感じました。

2日目は4つの分科会に分かれて、「インターネットや携帯電話」「防災・防犯」など今日的課題について有意義な事例発表・討議がなされ、地元を持ち帰り、実践できる貴重な土産となりました。

この大会を通して、「社会教育の絆」を本県から発信できたことが実感でき、充実した大会とすることができました。



(写真右)
第4分科会事例発表者
宮崎市木花地域婦人会
副会長
茜ヶ久保眞由美氏

大会事務局では、大会の様子を収録したDVDビデオを作成しています。ご希望される方は事務局にご連絡ください。

報告

全国山梨大会 本県から5名参加

片野坂千鶴子さんが
全国表彰を受けられました。

10月24日～26日の3日間、山梨県甲府市においてスローガン「つどえ富士の国やまなしへ 語ろう日本の今これから」のもと、全国社会教育研究大会が開催され、本県からは、森山会長をはじめ5名が参加しました。



開会行事では全国社会教育委員連合表彰が行われ、本協議会副会長の片野坂さんが、受賞されました（詳細後述）。また、**シンポジウム**では、NPO法人からシンポジストが勢揃いし、テーマ「**今求められるコミュニティ形成と社会教育のあり方**」について、NPO活動の社会教育的役割を中心に議論がなされました。**記念講演**は、日本経済新聞編集委員の藤巻秀樹氏が「21世紀の日本と地域社会」と題し、これからの社会を生き抜くための示唆

をいただきました。

最終日は、「家庭教育支援」など5の分科会に分かれて、各テーマの発表・協議がなされました。

来年度は平成25年10月23日～25日三重県伊勢市で開催される予定です。

一般社団法人全国社会教育委員連合表彰は、社会教育の推進に貢献のあった社会教育委員及び関係職員の方を表彰するものです。受賞された片野坂さんは、宮崎市社会教育委員として、平成13年から現在まで永きにわたり、家庭や地域の教育の視点から様々な提言等を行うなど、宮崎市ならびに本県の社会教育の発展に大きく貢献された功績により、今回表彰されました。



伝達の様子(1/30理事会において)

発行責任者 宮崎県社会教育委員連絡協議会事務局（担当：向江）

TEL:0985-26-7245 FAX:0985-26-7342 e-mail:mukae-shuichi@pref.miyazaki.lg.jp